

スポーツと文化部の「運営方針と目標」（平成 30 年度）

スポーツと文化部長兼

東京 2020 オリンピック・パラリンピック等担当部長 和泉 敦

スポーツと文化部調整担当部長 向井 研一

1 部の使命・目標に関する認識

部の使命・目標

◇スポーツと文化部は、芸術文化、社会教育を含む生涯学習、学校体育を除くスポーツに関する事業を全庁横断的に展開し、市長部局と教育委員会が密接に連携しながら、市民の暮らしに潤いと生きがいを創出する取り組みを一体的かつ効果的に進めます。

◇「文化の薫り高い三鷹」をめざして、芸術文化のまちづくりを推進します。

◇ともに学び、学びを活かし、学びの成果や絆が地域に受け継がれていく心豊かな社会の実現をめざし、生涯学習を支援する環境の整備や施策の充実を図り、市民の「学びと活動の循環」を推進します。

◇市民の健康・体力の増進を図り、「いつでも、どこでも、だれでも、そしていつまでも」スポーツに親しむことができる市民スポーツ活動を推進します。

各課の役割

スポーツと文化部は、芸術文化課、生涯学習課、スポーツ推進課の3課で構成され、①芸術文化の振興、三鷹中央防災公園・元気創造プラザの総合調整、②社会教育を含む生涯学習の推進、生涯学習センターの管理運営、文化財保護、③スポーツの推進、SUBARU総合スポーツセンター及び体育施設の管理運営、スポーツ、レクリエーション団体の指導、育成及び人財の育成などを進める部門からなり、各事業を通じて、市民の暮らしに潤いと生きがいを創出する取り組みを担っています。

また、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」や「ラグビーワールドカップ 2019」などを担当する「三鷹市東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等推進本部事務局」として、気運醸成事業を行います。

2 部の経営資源（平成 30 年 4 月 1 日現在）

① 職員数

職員数

スポーツと文化部職員 21 人

職員比率（正規職員）スポーツと文化部 21 人／市職員 986 人 職員比率 約 2.1%

② 予算規模

予算規模

平成30年度スポーツと文化部予算額

一般会計 1,669,935,000円

3 部の実施方針及び個別事業の目標等

実施方針

◇芸術文化の振興と三鷹中央防災公園・元気創造プラザの総合調整

「文化の薫り高い三鷹」のまちづくりをめざして、太宰治をはじめとする三鷹市ゆかりの文学者を顕彰するとともに、市民、関係団体との協働により、まち全体の活性化へとつながる芸術文化のまちづくりを推進します。

また、三鷹中央防災公園・元気創造プラザの総合調整を図り、指定管理者である公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団を中心に市民、関係団体等との協働により円滑な管理運営を実現するとともに、多彩で魅力的な事業を展開し、市民サービスの充実を図ります。

◇「三鷹市生涯学習プラン 2022（第1次改定）」に基づく生涯学習施策の推進

市民一人ひとりが、生涯を通して主体的に学習する機会を持ち、学んだことを地域に返して活かしていく「学びと活動の循環」の創出を推進します。

また、大沢の里古民家（仮称）については、大沢の里公園内の中核的な施設として、平成30年11月の一般公開を目指し、外構工事を行うとともに、体験学習等の事業を実施します。

◇「三鷹市スポーツ推進計画 2022」の推進及び「2020年」に向けた三鷹市の基本方針」に基づくラグビーワールドカップ2019と東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成等

循環型の豊かなスポーツ社会の実現とスポーツを通じたコミュニティの創生をめざして、ライフステージや目的に応じて、だれもがスポーツ文化に親しむことができるよう、機会の充実等スポーツライフを支援するとともに、環境の整備やスポーツ活動をともに支えあう人財の創出に努めます。

また、ラグビーワールドカップ2019と東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会とその後も見据え、気運醸成事業を積極的に推進します。

個別事業とその目標（個別事業の掲載は、重点課題順となっています。）

1 三鷹中央防災公園・元気創造プラザの指定管理者との協働による円滑な管理運営（全課）

「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」において、指定管理者である公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団等との協働により、引き続き円滑な管理運営を実施するため、施設運営協議会の毎月の開催や施設利用者のニーズ把握など、施設管理に関する総合調整を行います。また、安全性・快適性・利便性の向上を図るため、適宜、施設の改善等を行うこととします。さらに、ネーミングライツを継続的に活用することにより、施設の安定的な運営の確保と市民サービスの充実を図ります。

生涯学習センター及び体育施設について、利用者懇談会を開催し、市民や関係団体等と協働して、施設利用者のニーズの把握等を行います。

社会教育を含む生涯学習の拠点としての生涯学習センターにおいて、指定管理者である公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団と連携を図りながら、市民との

協働による市民大学総合コースを始め、幅広い世代の多様なニーズに応える魅力ある学習機会を提供し、学びと活動の循環を図ります。

SUBARU総合スポーツセンターでは、多世代を対象にした多種目のスポーツ教室事業、健康・体力相談事業などを拡充し、スポーツに親しむ機会の創出やスポーツを取り入れた健康づくりを推進します。

【目標指標】

- ・三鷹中央防災公園・元気創造プラザにおける円滑な管理運営の実施と指定管理業務の検証
- ・施設運営協議会の開催（年12回）（芸術文化課）
- ・利用者懇談会の開催（2回/年）（生涯学習課、スポーツ推進課）
- ・事業参加、施設利用者数 70万人（三鷹中央防災公園・元気創造プラザ全体）

2 三鷹市ゆかりの文学者に関する顕彰事業の推進（芸術文化課）

「井の頭文学施設（仮称）」として整備を予定していた「太宰治記念文学館（仮称）」及び「吉村昭書斎（仮称）」については、都立井の頭恩賜公園以外の場所に設置することとしました。今後、「三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業検討会議」を中心に、太宰治、吉村昭、津村節子、山本有三、神沢利子など、市にゆかりのある文学者の顕彰事業のあり方や「太宰治記念文学館（仮称）」及び「吉村昭書斎（仮称）」の整備に向けた検討を継続します。

【目標指標】

- ・「三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業検討会議」開催（年2回）
- ・三鷹市ゆかりの文学者の顕彰事業の実施
- ・「太宰治記念文学館（仮称）」及び「吉村昭書斎（仮称）」の整備に向けた検討
- ・太宰治寄託資料等の継続的展示
- ・新たな寄贈受入れに向けた調査及び活用方法等の検討

3 東京2020オリンピック・パラリンピック等の気運醸成事業の積極的な推進とボランティア人財の育成・支援（スポーツ推進課）

「“2020年”に向けた三鷹市の基本方針（以下「基本方針」という。）」に基づき、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）及びラグビーワールドカップ2019に向けて、トップアスリートによる水泳・バレーボール教室のほか、ラグビー教室の開催、三鷹ゆかりのアスリート応援事業など気運醸成事業を積極的に推進します。基本方針の推進にあたっては、庁内本部体制を中心に総合調整を図るとともに、市民との協働により事業を推進するため、東京2020大会等とその後を見据えた「2018年度事業実施方針・事業概要（仮称）」を作成し、地域との連携組織を立ち上げ取り組みます。また、広報など情報発信、ボランティアの活躍、参画プログラムの活用及び聖火リレー等、東京都、各組織委員会と連携し進めます。

ボランティア人財の育成・支援については、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団と連携し、スポーツボランティアの導入・養成のための講座等を開催します。また、ボランティアポイント制度の実施に向けた検討を進めます。

【目標指標】

- ・気運醸成事業の積極的な推進（各種事業参加者合計1,700人以上）
- ・「2018年度事業実施方針・事業概要（仮称）」の作成と地域連携組織の設置

- ・スポーツボランティアの導入・養成のための講座等への参加者 100 人以上

4 市民大学・むらさき学苑等をはじめとした生涯学習の総合的な推進及び学びと活動の循環の創出（生涯学習課）

市民の社会教育を含む生涯学習の振興と施策の総合的な推進を図るため、生涯学習審議会を開催し、生涯学習計画や生涯学習施策の基本的なあり方に関する事などについて、調査・審議等を行います。また、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団と連携を図りながら、市民との協働による市民大学総合コース、むらさき学苑等の多彩な生涯学習プログラムの提供及び全市的な生涯学習事業を推進し、「学びと活動の循環」の創出に向け、生涯学習審議会と生涯学習プラン推進会議（庁内会議）との効果的な連携に努めます。さらに、市民の利便性向上のため、ルーテル学院大学、国際基督教大学で実施している市民聴講生事業の申込窓口を三鷹ネットワーク大学にも設置します。

【目標指標】

- ・生涯学習審議会（年 4 回）と生涯学習プラン推進会議（年 4 回）の効果的な連携
- ・市民聴講生事業の申込者数 70 人以上

5 太宰治没後 70 年の特別展の実施と生誕 110 年の記念事業に向けた取り組み（芸術文化課）

平成 30 年は太宰治没後 70 年にあたることから、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団との協働により、桜桃忌の時期にあわせて、特別展を開催します。

また、平成 31 年は太宰治生誕 110 年にあたることから、同財団との協働により、記念事業に向けた取り組みを実施します。

【目標指標】

- ・太宰治没後 70 年特別展の開催
- ・特別展の来場者数 7,000 人以上
- ・太宰治生誕 110 年記念事業に向けた調査・検討の完了

6 大沢の里古民家（仮称）の開館と三鷹型エコミュージアムの推進（生涯学習課）

大沢の里古民家（仮称）については、大沢の里公園内の中核的な施設の一つとして 11 月の一般公開を目指し、外構工事、公開展示用備品の設置、わさび田景観復元作業を行うとともに、古民家解体調査報告書を作成します。また、地域団体や文化財保護審議会と協議を図り、事業内容や管理運営計画を定め、設置条例を制定するとともに、施設公開管理及び事業運営を委託により実施します。併せて、一般公開に先立ち、見学会等を実施することで気運の醸成を図り、開館時に開設記念式典等を行います。開設後は市民向けの各種体験学習講座や展示を継続的に実施します。

三鷹型エコミュージアムの推進については、市民参加による文化財等の保護に取り組み、三鷹の歴史・文化等の魅力を伝える冊子を刊行し、地域資料のアーカイブ構築や貴重資料のデジタル化を実施するほか、市民の調査研究活動を支援し、文化財基礎調査や、戦前建物（日本無線(株)三鷹工場等）の調査報告書の作成を行います。

【目標指標】

- ・外構工事及び公開展示の実施
- ・設置条例の制定、一般公開及び開館記念式典の実施
- ・施設公開管理運営委託の実施、みたかエコミュージアム研究『みいむ』創刊号の刊行
- ・戦前建物調査報告書の作成

7 星と森と絵本の家協働事業の充実と特色ある施設運営の推進（芸術文化課）

平成 30 年 7 月 7 日に開館 10 年目を迎えることから、ボランティア（星と森と絵本の家フレンズ）との協働により、記念事業を実施します。

市の登録有形文化財である国立天文台旧 1 号官舎について、再築から 9 年が経過し、現在まで大規模な修繕等を実施していないことから、文化財的価値を維持するとともに、来館者の安全性・快適性を確保するため、施設の修繕等を行います。また、蔵書数が 7,000 冊を超えたことから、新たに蔵書管理システムを導入し、効率的な蔵書管理を行うとともに、蔵書を活かした特色ある施設運営の推進を図ります。

【目標指標】

- ・開館 10 年目記念事業の実施（開館記念イベント及び開館 10 年目特別展）
- ・国立天文台旧 1 号官舎等の修繕等の完了
- ・蔵書管理システムの導入

8 芸術文化センター、みたか井心亭等の文化施設の計画的な改修整備

（芸術文化課）

平成 7 年 7 月に竣工した芸術文化センターをはじめとした文化施設に係る空調や照明などの施設付帯設備については、経年劣化により、その更新が喫緊の課題となっています。そこで、これらの文化施設の付帯設備について、管理上必要な工事を平成 29 年度から 31 年度の 3 カ年をかけて適切かつ計画的に実施し、安定的な運営を確保することにより、市民の芸術文化活動の更なる推進を図ることとしています。平成 30 年度は、芸術文化センター中・小ホールの照明設備等及びみたか井心亭の空調設備の改修工事を実施します。

【目標指標】

- ・芸術文化センター中・小ホールの照明設備等の改修工事の完了
- ・みたか井心亭の空調設備の改修工事の完了

9 市民スポーツ活動の更なる充実に向けた和洋弓場整備の推進（スポーツ推進課）

三鷹中央防災公園・元気創造プラザ整備事業に伴う市民センター内再配置の一環として、立体駐車場整備後に駐輪場と一体となった和洋弓場の整備に取り組みます。和洋弓場は、弓道とアーチェリーで固有のスペースを確保し、弓道は 5 人立ち長さ 28m、アーチェリーは 8 人立ち長さ 50m と充実した施設内容を予定しています。

【目標指標】

- ・和洋弓場の整備工事着手

10 出土品等の適切な保存に向けた生涯学習課分室（埋蔵文化財収蔵庫及び展示室等）の移転に向けた取り組み（生涯学習課）

スポーツと文化部生涯学習課分室（埋蔵文化財収蔵庫）の老朽化等に伴い、施設の移転に向けた取り組みを行います。移転に当たっては、教育センター改修後のスペースを有効利用し、生涯学習課と分室の連携を強化するなど、市民や事業者に対するサービス向上を図ります。教育センターに収容しきれない出土品等の資料については、J R高架下や既存施設等を有効活用することとし、平成 30 年度は J R高架下用地への収蔵庫設置工事を実施し、出土品の一部の移転を行います。移転作業に伴い、東京都指導等に基づく出土品等の資料の整理を実施し、活用等がより容易になるよう保管していきます。なお、平成 31 年度に分室と出土品の移転を完了させ、移転後に現分室の解体工事を行います。

【目標指標】

- ・ J R高架下収蔵庫の設置及び出土品等の保管
- ・ 出土品等資料の整理及び J R高架下収蔵庫への移転
- ・ 教育センター改修（追加）工事の実施